

平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成25年度 事業報告書
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学園の教育は、校祖、幸田たま女史の何事にもくじけぬ不撓不屈の湊川精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い特性と、健全な身体を備え、新時代を即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲をもとに、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を琢磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園) 平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

4 役員・評議員の概要

【役員】

理事	理事長	浅井 祐子	監事	監事	下山隆一郎
	常務理事	小室 烈生		監事	木 寅 文 雄
	常任理事	堀 忍			(2名)
	常任理事	大前 衛			
	常任理事	齋藤 孔孝			
	常任理事	原口富美子			
	理事	柳 田 昌 三			
	理事	高 尾 裕 子			
	理事	山野上素充			
		(9名)			

【評議員】

評議員	評議員	浅井 祐子	評議員	藪 田 榮 男
	評議員	小室 烈生	評議員	上 田 紀 夫
	評議員	堀 忍	評議員	進 藤 容 子
	評議員	大前 衛	評議員	則 木 豊 丈
	評議員	齋藤 孔孝	評議員	藤本まり子
	評議員	大前成美	評議員	柴 崎 成 男
	評議員	久 保 隆	評議員	辻 優
	評議員	久保 廣昭	評議員	柳 田 昌 三
	評議員	中 里 博	評議員	田 仲 正 之
	評議員	原口富美子	評議員	高 尾 裕 子
	評議員	大 西 則 夫	評議員	山野上素充
			評議員	古林伊津子
				(23名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児・教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	80	160	177	12	34	8	6
幼児教育保育学科	100	200	163	14	18	10	6
専攻科健康教育専攻	10	20	7				
専攻科幼児教育専攻	20	40	4				
合 計	210	420	351	26	52	18	12

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
特 進 コ ー ス			72				
総 合 コ ー ス			936				
合 計	210	270	1008	49	12	7	1

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		188	12	11	0	0
神 陵 台 幼 稚 園	62		182	14	6	0	2
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		227	13	8	1	1
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		290	13	13	0	2
北 摂 学 園 幼 稚 園	85		108	9	11	2	0
合 計	427		995	61	49	3	5

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	17	70	79	16	3	3	5
合 計	17	70	79	16	3	3	5

※ 学生・生徒・園児・教職員数2013年(平成25年5月1日現在)

6 主な事業の目的・計画および進捗状況

湊川短期大学

(1) 自己点検・自己評価

法令に則り、認証評価機関である財団法人短期大学基準協会による第三者評価を平成25年10月2日・3日の2日間にわたり受けた。

その結果、本学は、基準Ⅰ建学の精神と教育の効果、基準Ⅱ教育課程と学生支援、基準Ⅲ教育資源と財的資源、基準Ⅳリーダーシップとガバナンスのすべての面において、評価結果は合となり、短期大学基準協会が定める短期大学評価基準を満たしているとして、平成26年3月13日付で適格であると認められた。

(2) 学内事業

① 免許・資格の取得状況について

平成25年度の実績は、養護教諭二種免許状取得15名、介護福祉士資格取得35名、幼稚園教諭二種免許状取得71名、養護教諭一種免許状取得5名、幼稚園教諭一種免許状取得1名、保育士資格取得72名であった。また、①フードサイエンティスト取得14名、②フードスペシャリスト取得9名、③情報処理士取得47名、④医療管理秘書士取得

48名、⑤病歴記録管理士取得46名、⑥レクリエーション・インストラクター取得15名、⑦介護保険事務士取得57名、⑧ピアヘルパー取得106名、⑨カウンセリング実務士6名であった。

本年度も、実績を上げるように指導している。

② GPA値による成績優秀者の表彰制度実施―校祖幸田たま賞、学長賞―について

平成25年度の校祖幸田たま賞の表賞は、人間健康1名・生活福祉1名であった。平成25年度前期の成績優秀者表彰(学長賞)は、1・2年生併せて人間健康専攻6名、生活福祉専攻4名、幼児教育保育学科9名であった。

③ 実習について

実習は、免許・資格取得に欠かせないものである。例えば介護福祉士資格を取得するためには、介護実習(実習Ⅰ-①・実習Ⅰ-②・実習Ⅱ)をクリアする必要がある、実習Ⅱが修了しないと次に進めない。また、養護教諭二種免許状を取得するために養護実習、臨床実習、幼稚園教諭二種免許状の取得には幼稚園教育実習、保育士資格の取得には、保育実習、施設実習が計画され実施されている。

本学の教育分野は、それぞれが人と接する仕事となることから、学外実習において、実際の場面で考え、体験することで実際に役立つ力を身につけていくこととしている。

④ 高等学校への大学講師派遣等高大連携について

高等学校への本学教員派遣による出前授業について、教員の専門分野を生かした出前授業内容の一覧表を作成し、各高校へ配布している。昨年度は、県立篠山産業高等学校丹南校やクラーク記念国際高等学校(三田分室)へ教員を講師として派遣した。また、特別非常勤講師として、各学科専攻の教員を県立有馬高等学校(定時制)へ、生活福祉専

攻の教員を県立三田祥雲館高等学校へ講師として派遣した。

(3) 研究事業

① 専攻科(健康教育専攻・幼児教育専攻)の充実

専攻科幼児教育専攻においては平成21年度に、健康教育専攻においては、平成24年度に大学評価・学位授与機構による教育の実施状況等の審査を受け、適正な教育が行われていることが確認されている。それぞれ基本となる学科、専攻の月に一度の定例会議の中で、短大教育との連続性と学士教育の質の充実について、研究協議している。

② 研究紀要の発刊について

研究紀要の原稿を学内に求め、年1回発刊しており、広く教員の研究発表の場になっている。常勤に限らず、非常勤講師等にも投稿の門戸を開いている。平成25年度は14本の掲載があり、そのうち非常勤講師3名が投稿しており、専攻科生2名(共著)、学園教職員11名が共著者として投稿をした。平成26年3月に第50集を発刊した。

③ FDの取り組みについて

平成16年度から本格的にFD(教育改善)研修に取り組んできた。特に、学科会のレベルで、学生の授業評価アンケートや、各授業での授業展開の工夫などを検討の場にのせた研修を実施している。平成24年度に「学習成果」を具体的に定めたことをうけ、PDCAの一環としたFD研修を始めている。

④ 科学研究費補助金の採択について

平成23年度より継続して独立行政法人日本学術振興会の科学研究補助金(基盤研究(C))を1名受給中。また、他大学より1名研究分担を行った。

平成26年度の独立行政法人日本学術振興会の科学研究助成事業に10名(基盤研究(C):6名、若手研究(B):4名)が応募した。

(4) 課外事業

① 「地域子育て支援センター」移設・拡充について

平成25年度から「地域子育て支援センター」を本学附属北摂学園幼稚園から本学に移設した。そのことによって、従来の支援センター実施事業だけでなく、子育て支援への学生の参加や保育士等養成機関が持つ専門性やノウハウを活用して、子育て支援拠点施設の充実を図った。

② 介護技術講習会・キャリア形成訪問指導事業について

介護福祉士資格を得るには、現在、「養成校ルート」と「実務経験ルート」がある。うち実務経験ルートでは、3年の実務経験の後、国家試験に合格すれば資格が授与される。国家試験は、筆記試験と実技試験がある。受講すれば実技試験が免除になる。「介護技術講習会」を本学では昨年度、2回開講した。(1回定員32名、受講料60,000円)これは、地域の施設等からの強い開催要望に応えたものである。

兵庫県は全額補助事業として、介護職員のキャリアアップを支援する「キャリア形成訪問指導事業」を実施している。本学でも、キャリア形成訪問指導事業を実施した。1回2時間程度で28回教員を派遣した。内容としては、生活福祉専攻の教員を各施設へ派遣し、生活支援技術の研修や介護福祉士国家試験受験対策講座などである。

③ 地域支援教育事業（市民大学・出前講座等）について

地域支援教育事業としては、市民大学があげられる。平成25年度で25年目を数え、毎年1回実施している。受講者の中には、連続して何年も参加して下さる人も多い。平成25年度も8月から9月にかけて4講座実施した。受講生延べ数は467名であった。

講座は、「地域に貢献する短大」という位置づけから、地域への出前講座を実施している。特に、三田高齢者大学OB会（三九会）からは、毎年講師依頼があり、9～10人の教員を講師として派遣している。

平成25年度には、猪名川町中央公民館において、生涯カレッジ「リバグレス猪名川」に出前授業の講師を派遣した。（受講者約80名）

この他に、図書館・第一体育館の開放、地域の行事への参加協力、国際交流協会への支援、丹波青い鳥学級（視覚障害者社会学級）との交流を行っている。

④ 教育相談活動について

教育相談については、地域貢献の一助となるよう教育相談実践研究センターとして活動しており、平成25年度は本学附属園に配属されている新任教員対象の研修会及び附属園各園教員対象の研修会を実施した。

(1) 学校運営の改革・改善

① 男女共学化の推進

近年、少子化等の影響により、本校においても入学志願者数が減少傾向にあったことから、平成16年度に男女共学化を発足させた。この結果、入学志願者数は、次のように増加してきており、他府県からの受験も増加している。

()は男子数

(毎年5月1日現在、単位：人)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H20年度	210	1,706(85)	377(216)	949(485)	377	316	256
H21年度	210	1,689(83)	311(168)	915(485)	311	320	284
H22年度	210	1,717(88)	370(242)	957(570)	370	285	302
H23年度	210	1,815(99)	382(242)	1,000(61)	383	346	271
H24年度	210	1,807(96)	323(204)	1,008(63)	334	347	327
H25年度	210	1,859(92)	372(219)	1,008(61)	374	307	327

② コース制導入による教育課程の再編

平成15年度から“特別進学コース”と“総合コース”を設置した。

()はクラス数

(毎年5月1日現在、単位：人)

年度	特進コース	総合コース
平成20年度	74(3)	753(19)
平成21年度	80(3)	869(21)
平成22年度	69(3)	846(21)
平成23年度	65(3)	892(22)
平成24年度	60(3)	940(24)
平成25年度	72(3)	936(24)

③ 本校と短大、幼稚園との連携

幼児教育等の講義・実習を履修

(2) 特色ある教育の実施

特進コースにおいては、特に、有名私立大学よりさらに上位校を目指す生徒に対し、2年次から文・理両コースに分けて、少人数クラスでの授業を実施している。

また、特進及び総合の両コースにおいては、サテライン及びeラーニングによる授業を展開し、生徒の学力向上と本校の進学率の向上を図っている。

そのほか、他校にない特色として、茶道を正課教育に取り入れている。また、24年度より、本学園の幼稚園との連携も視野に入れた、総合学習における農園実習など、新たな事業の展開を図る。

(3) 平成25年度の主な行事

4月6日	第63回入学式
6月14日、15日	松聖祭（文化の部）
6月18日	〃（体育の部）
8月1日、23日	学校見学会
8月29日・30日	兵庫県私立中学・高等学校連合会主催 第8回兵庫私立中学・高等学校展（合同説明会）大丸神戸店
1月19日～24日	2年生 ハワイへの修学旅行（第9回目）
2月21日	第61回卒業式

湊川短期大学附属 西舞子幼稚園 平成25年度事業報告

(1) 在籍状況(定員 220 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	1	2	3	4	5	9	12	12	12	13	13	14	100
3歳児	62	62		62	62	62	61	61	61	61	61	61	676
4歳児	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	828
5歳児	62	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	755
計	194	196	197	198	198	203	205	205	205	206	206	207	2420
入園率	88%	89%	90%	90%	90%	92%	93%	93%	93%	94%	94%	94%	92%

※26年、新園舎(耐震補強事業)完成、27年度より幼稚園型認定こども園となり2歳児(定員6名)増加予定
* 昨年度と比較して

(2) 運営・経営状況

・人的環境として、新採教諭が10月に退職。その過程で失いかけた園への信頼を主任がクラス担任に入るなどにより努力し保護者には目に見える教育力の成果につながった。また教師各自の責任感や保育向上心にもよい影響を与えた。
・就業時間の改善努力が足りなかった。園事務会計など教諭の負担軽減も課題である。一園だけの改善だけでない課題があるが、効率のよい勤務体制や優先順位を考えた仕事を職員全体で意識していく事が課題

(3) 怪我・事故

・園児に関しては大きな怪我、事故は幸いなし。職員1名、脚立留め不完全の為落下、膝下裂傷(全治10日)アレルギー対応は保護者、給食関係者や担任、給食担当教諭の四重チェックが功を奏し事故なし。
・園内遊具に関して使用適正年齢の見直しをした。絶えず現状改善の意識を教師間で育てたい。
・不審者、危機災害等の避難訓練の強化と内容の多様化が図れた。避難経路の確認と整備、二次避難場所の確保など教師の危機管理意識が高まった。子ども自身が「命を守る」力が高まるような内容にし、経験が積み上がっていくことを意識して実践できた。地域との連携も今後必要。

(4) 子育て支援事業

・すずらん保育(預かり保育):対象在園児、小3迄の卒園児。AM7:00～19:00長期休暇中有1日平均約40人
・つぼみ教室:月2回程度、登録16組。満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
・すこやかひろば:月2回程度、満一歳以上未就園親子。随時登録可、地域友達との触れ合いの場とする。
・わくわくようちえん:就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。
※ 課題として27年度園運営体制に向け、つぼみ、すこやか等の回数、内容強化を図っていく。

(5) 職員研修

・新任研修(年14回)・附属5園研修(8/28公開保育)・神私幼「みんなあつまれ」参加事前研修・子育てフォーラム・神私幼連盟研究会教育課程グループ研修(年8～10回)…集録発表1名、3/27実践発表1名、県教育研究発表会参加研修、第28回近畿私立幼稚園研修会、垂水区私立幼、保、小連携の会出席、情報交換

(6) 購入・修繕等

・修繕なし
・園児椅子 70客・音響設備一式(アンプ等)・キーボード・園児テーブル12台・室内遊具・シューズボックス

(5) 異年齢交流・連携事業活動

・プレ親体験授業交流訪問(市立長坂中学校)・トライやるウィーク(6月…明石市立中学校2校、10月…神戸市立中学校4校)・神私幼事業「みんなあつまれ」年長児親子参加(ワールド記念ホール)・実習生、学生ボランティア受け入れ・交通安全教室(垂水警察来園指導)

(8) 広報・社会活動

園子育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神私幼ホームページ他園紹介内容の更新PR向上

(9) 園内研究(委員会)活動

・園内研究会(各学期ごと)の実施・「行事、園外保育の反省、改善」を今年度の目標に置き、子どもの発達に添った内容を軸に話し合った。・保育日誌の自由閲覧・園長からの保育参考資料配布三回(保育者の関わり・豊かな言葉をはぐくむ・小学校以降の学びの土台となる幼児期の生活の経験とは?)

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 平成25年度事業報告

(1) 在籍状況 (定員 240名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	2	2	3	3	7	7	7	9	11	13	13	77
3歳児	66	66	66	66	66	67	67	67	67	66	66	66	796
4歳児	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	744
5歳児	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	804
計	195	197	197	198	198	203	203	203	205	206	208	208	2421
入所率	81%	82%	82%	83%	83%	85%	85%	85%	85%	86%	87%	87%	84%

* 昨年度と比較して
人数は若干増えた。

(2) 運営・経営状況

- ・ 7月後半から9月いっぱいまで、園舎の耐震工事を行う。 ・ 行事に参観頂く保護者の人数の増加により、父母の会費を600円から800円に値上げし、値上げ分で外部のホール（シーサイドホテル舞子ビル あじさいホール）を借りて、音楽会を行った。
- ・ 平成26年度からの制服モデルチェンジに伴い、デザインや価格などを話し合い、決定する。

(3) 怪我・事故

病院で診断、治療を受けた回数（外科 3回、歯科 3回、眼科 1回）

(4) 子育て支援事業

- ・ わくわく幼稚園開設（5歳児対象。申込み者無し。）
- ・ まちの子育てひろば（ふれあいひろば）事業参加。

(5) 職員研修

- ・ 新任研修 ・ 附属6園研修 ・ 特別支援研修 ・

(6) 購入・修繕等

- ・ 耐震工事の為に傷んだ園庭の修繕。（まだ、直らず。平成26年度に引き継ぐ。）
- ・ 砂場の修繕

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・ トライやるウィーク 2校 ・ プレ親体験 2校 ・ 実習生受け入れ

(8) 広報・社会活動

- ・ 垂水区役所の子育て支援課のボードに、ふれあいひろばの案内を貼りだす。

(9) 園内研究（委員会）活動

- ・ 湊川短大卒業の中堅教諭（4年目）が卒園生と語ろう会に参加。

湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 平成25年度事業報告

(1) 在籍状況（定員300名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	10	10	9	10	10	8	7	6	7	6	7	6	96
満3歳児	2	2	6	8	8	10	11	12	12	12	12	12	116
3歳児	49	49	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	595
4歳児	84	84	84	83	83	84	84	86	86	86	86	86	1016
5歳児	88	88	88	88	88	89	89	89	89	89	89	89	1063
計	233	233	236	238	238	241	241	243	244	243	244	243	2886
入所率	78%	78%	79%	79%	79%	80%	80%	81%	81%	81%	81%	81%	80%

(2) 運営・経営状況

- ・大きな変動はなく、例年通りの運営ができた。

(3) 怪我・事故

- ・病院にて診断、治療を受けた回数 7回（眼科3回・整形外科2回・外科2回）

(4) 子育て支援事業

- ・すこやか広場 月2回程度（園庭開放・職員と遊ぼう 各1回ずつ）
- ・あいあいルーム 子どもコース（3歳児中心 月3回程度）
親子コース（2歳児中心 月2回程度）

(5) 職員研修

- ・新任研修・附属六園研修・附属五園公開保育・三同教・阪同教・三田市私立幼稚園研究部会
- ・私立幼稚園教員子育て支援研修・特別支援研修・給食施設協議会・保幼小中連携研修
- ・運動遊び他 各会社などの案内より希望研修に参加

(6) 購入・修繕等

- ・管理棟床面と園長室の改修
- ・遊戯室北面の屋根の雨漏り

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク（挟間中・富士中）・北摂三田高校育児体験・武庫小学校との交流
- ・湊川短期大学他教育実習生受け入れ・湊川短期大学「湊川のあゆみ」
- ・人と自然の博物館との交流 セミナー参加

(8) 広報・社会活動

- ・園長：私立幼稚園研究部会世話係
三田給食施設協議会 学校、保育所、幼稚園部会長

(9) 園内研究（委員会）活動

湊川短期大学附属 北摂中央幼稚園 平成25年度事業報告

(1) 在籍状況 (定員305名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	1	4	6	7	7	14	14	16	17	20	20	20	146
3歳児	81	81	81	81	81	81	81	81	81	80	80	80	969
4歳児	105	105	105	105	104	105	105	105	105	105	105	105	1259
5歳児	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	1188
計	286	289	291	292	291	299	299	301	302	304	304	304	3562
入園率	94%	95%	95%	96%	95%	98%	98%	99%	99%	100%	100%	100%	97%

※26年、新園舎（耐震補強事業）完成、27年度より幼稚園型認定こども園となり2歳児（定員6名）増加予定

*昨年度と比較して

平成24年度3月：307名（内1名休園）

(2) 運営・経営状況

ここ3年間、ベテラン教諭の異動退職等が続き、新規採用者（経験年数の低さ）の比率が高くなってきている。学年主任の位置付けを明確にするとともに、きめ細かな打ち合わせを十分に行い、経験不足を補うように努めてきている。保護者からの理解と協力支援を受けることによって高い評価を保持することに至っている。

(3) 怪我・事故

病院で診断、治療（脳外科2，外科4，耳鼻2，眼科4，歯科3，）

(4) 子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業 毎月1回
- ・兵庫県私立幼稚園2歳児子育て応援事業
- ・兵庫県わくわく幼稚園実施状況

(5) 職員研修

- ・新任研修、附属6園研修、三同教、阪神同教
- ・運動会遊び講習会、特別支援研修、保幼小中連携研修、教員研修大会発表

(6) 購入・修繕等

- ・パソコン4台購入
- ・ひつじサークル、掲示板、水槽台、給食室改修工事

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィーク2校、西陵高校・祥雲館高校交流
- ・すずかけ台小学校交流（打ち合わせ会、反省会等）

(8) 広報・社会活動

未就園児園庭開放

(9) 園内研究（委員会）活動

- ・特別支援アドバイザーより指導、アドバイス
- ・クラス研究保育

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 平成25年度事業報告

(1) 在籍状況 (定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	1	1	1	1	2	2	6	6	6	7	7	40
3歳児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
4歳児	39	39	39	39	39	40	40	40	40	40	42	42	479
5歳児	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	468
計	106	107	107	107	107	109	109	113	113	113	115	116	1322
入園率	74%	74%	74%	74%	74%	75%	75%	78%	78%	78%	79%	80%	76%

* 24年度末の定員充足率は68%であったが25年度末においては80%に上がっている。

(2) 運営・経営状況

- ・常務理事による園長の兼任や職員の人事異動により職員体制の変動があったが、新しい体制で良好な園運営を行うことができた。
- ・附属5園とともに制服のリニューアルを検討。また、三田3園と共に自園給食への準備も進んだ。
- ・雨漏りし、20年以上塗替えのなかった園舎屋根の全面改修を行った。
- ・その他に園庭土の改善、ビオトープ作りを行った。

(3) 怪我・事故・病院で診断、治療を受けた回数は 9回 (歯科 5件・他4件)

(4) 子育て支援事業

- ・地域に開かれた園として、未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設。親子遊び体験と園庭開放を毎月行った。
- ・その他に未就園児預り保育「わくわくルーム」と未就園児体験保育「あいあいルーム」を実施。

(5) 職員研修

- ・附属5園の公開保育にて「夢中になって遊ぶ子どもをめざして」—園庭の遊び環境を見直す研究を公開し、附属短大との連携をとり、大学紀要での発表を行った。
- ・新任研修、附属6園研修、三田市教育委員会より案内のあった各種研修会 (兵私幼より案内のあった各種研修会他、保育のスキルアップに関わる研修会に参加)

(6) 購入・修繕等

- ・園舎、屋根、雨もり修繕

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク2校・三田松聖高校実習農園借用・県立祥雲館高校体験保育
- ・実習生受け入れ・関西学院大学よさこい炎流との交流

(8) 広報・社会活動

- ・こいのぼり防火訓練にて新聞掲載 (神戸・読売・朝日)
- ・県立祥雲館高校との交流にて新聞掲載 (神戸)
- ・日本保育学会会員 (幸田・芝本・尾形)

(9) 園内研究 (委員会) 活動

- ・園庭整備委員会
- ・保育室環境会議
- ・特別支援に係る会議
- ・安全対策委員会
- ・感染症対策委員

湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成25年度事業報告

(1) 在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	4	6	7	8	9	12	12	13	12	12	12	12	119
1歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
4歳児	15	15	15	15	16	16	16	15	14	14	14	14	179
5歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
計	75	77	78	79	81	84	84	84	82	82	82	82	970
入所率	107%	110%	111%	113%	116%	120%	120%	120%	117%	117%	117%	117%	115%

* 4月2日現在では定員の115%以下しか受入できない。(国よりの通達)

* 5月1日より定員の120%以上の受入可能。但し、通年平均で120%を超える入所数が2年続くと定員増の申請を取らなくてはならない。

(2) 運営・経営状況

・大きな変動はなく、例年通りの運営は出来た。7月下旬に落雷により停電。そのため、食器保管庫のタイマーが狂い、庫内温度が上がり、食器保管庫が使用不可能となった。また、庫内にあった食器も使用できなくなり、火災保険の適用をし、すべて取り替えた。

(3) 怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は12回(歯科7件、整形外科1件
眼科1件、小児科3件)

大きな怪我としては、2歳児の鎖骨骨折で全治1か月半、0歳児の誤飲により アナフィラキシーショックで1日入院した。

(4) 子育て支援事業

・地域子育て支援センター事業の体験保育(0, 1歳児)を16回実施した。
・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。
・障害児保育を開始した。

(5) 職員研修

・新任研修、附属6園研修、三同教、阪神同教、むつほ会研修、体育あそび講習会、造形教育、カウンセリング、教育フォーラム、子育てフォーラム、特別支援研修、給食施設協議会、児童虐待防止、運動あそび、特別支援教育、保幼小中連携研修等を実施した。

(6) 購入・修繕等

・学年用のパソコンを6台購入した。
・スチームコンベクションを1台購入した。

(7) 異年齢交流・連携事業活動

・とらいやるウィーク2校、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学「湊川のあゆみ」
すずかけ台小学校との交流会、よこやま保育園、地域子育て家庭との交流、
保育士養成校の保育、実習生受け入れ、有馬高校ボランティア等を実施した。

(8) 広報・社会活動

・園長: 多世代交流館ふらっと「子育てすくすく相談」講師
就学前接続カリキュラム委員
社会福祉法人 桂樹会理事
日本保育学会員
湊川短期大学専攻科非常勤講師・短大ゲスト講師

(9) 園内研究(委員会)活動

・人権研究委員会、ひやりハット委員会、幼児保育会議、乳児保育会議
・離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。
・むつほ会会計監査を1期務めた。
・湊川短大卒1年目の保育士が卒業生と語る会に参加した。

2 事業の概要

(1) 平成25年度の主な事業

(法人)

事務局パソコン購入(NECパソコン)	116,865	ミキ通設(株)
事務局パソコン購入(富士通パソコン)	316,260	(株)さくらケーシーエス
事務局会議用テーブル・椅子等購入	128,765	アイリストセ(株)

(短大)

短大駐車場ライン補修工事	313,950	但南建設(株)
キュービクル改修工事	588,000	(有)花崎電気工事
プレハブ解体撤去、アスファルト舗装工事	1,232,970	但南建設(株)
東側通路転落防止柵設置工事	157,500	但南建設(株)
図書館エアコン設置工事(ダイキンS25PTEV-W)	210,000	(有)花崎電気工事
第一体育館消防用設備改修工事	1,029,000	(株)ゼネラル商会
学生会館便所改造工事	1,135,000	但南建設(株)
公用自動車更新(トヨタ アクア)	1,897,100	(株)竹花自動車
学生会館(食堂) テーブル・椅子購入	386,400	アイリストセ(株)
支援センター パソコン購入	109,578	ミキ通設(株)
図書館動力用ケーブル改修工事	800,000	(有)花崎電気工事
4号館給水加圧ポンプ修理	309,750	三住管財(株)
楽器購入 ヤマハ クレディノール CLP-430R	138,000	(株)三字屋楽器店
リコー複合機購入	543,900	(株)大東

(学内寮)

学生寮消防用設備改修工事	100,000	三住管財(株)
--------------	---------	---------

(高校)

加圧給水設置工事	3,705,500	(有)なべい設備商会
空調機更新工事	4,350,000	(有)花崎電気工事
楽器購入 ヤマハ グロックン (YG-2500)	344,400	森岡楽器
楽器購入 コロキ シロフォン (UX555C)	341,040	森岡楽器
楽器購入 ヤマハ フレンチホルン (THR-668D)	398,000	森岡楽器
アルミポータブルステージ(NPS-200ALW)2台購入	273,000	アイリストセ(株)
公用車更新 マツダ プレマシー	2,150,000	向山センター
本館校舎外壁改修工事	15,645,000	山陽建材工事(株)
教務システム開発費	1,041,600	ナニワ計算センター
教室カーテン取替工事	1,287,000	インテリアかとう
総合グラウンド 防球ネット増設工事	3,200,000	清立商工(株)
楽器購入 ヤマハ ユーフォニウム(YEP-621S)	290,000	森岡楽器
楽器購入 ヤマハ トランペット	235,000	森岡楽器
パソコンプリンター購入(PX-H9000)	367,500	(株)大東
学生会館便所改造工事	3,365,000	但南建設(株)

生徒用机・椅子購入	472,500	アイリスホセ(株)
網戸設置工事	241,500	塩谷建設(株)
総合グラウンドバックネット一部張替工事	141,540	清立商工(株)
記念体育館玄関ホール照明器具修理	189,000	山陽建材工事(株)
調理室ボイラー修理	106,600	JAエネルギー兵庫
本館2階女子トイレ修理等	123,795	(有)なべい設備商会
ケーブルラック取付工事	300,000	(有)花崎電気工事
茶室畳等替	764,295	ナガサワ
記念体育館漏水修理	462,000	山陽建材工事(株)
ヤマハ Ebバス修理等	122,360	森岡楽器
テニスコート照明工事	380,000	(有)花崎電気工事
記念体育館落下防止手すり取付	399,000	前田建設工業(株)
濾過器補修	385,350	(有)ミネ工業
テニスコート棟練習板壁修理	350,000	但南建設(株)
総合グラウンド内トレーニング棟新築工事	52,000,000	但南建設(株)

(西舞子幼稚園)

シューズボックス購入	460,000	チャイルド
大型遊具購入	400,000	チャイルドブック
園児用椅子購入	511,000	(株)ジャクエツ神戸店
キーボード購入	230,000	(株)ジャクエツ神戸店
ユニベックスダイバシティ購入	180,000	(株)ジャクエツ神戸店

(神陵台幼稚園)

園舎耐震補強工事	46,230,000	三日月建設(株)
遊戯室カーテン修理	173,000	ギャラリーヒロタ
砂場枠設置	400,000	(株)ジャクエツ神戸店
遊戯室舞台緞帳	282,525	廣田縫工(株)

(北摂第一幼稚園)

うす軽テーブル購入	480,000	フレール館
職員室エアコン取替修理	560,000	(有)花崎電気工事
園長室、職員室、廊下床張替工事	770,700	但南建設(株)
ガス回転釜購入	252,236	晃洋厨機(株)
乾燥機付包丁まな板殺菌庫	153,997	晃洋厨機(株)
スチームコンベクションオーブン(TSCO-4GBN3)	623,954	晃洋厨機(株)
汚水枴敷設替工事	216,695	(有)なべい設備商会
遊戯室漏水改修工事	924,000	山陽建材工事(株)

(北摂中央幼稚園)

保育室整理棚修繕	2,814,000	(有)内藤木工所
保育室手洗場下扉修理	233,100	(有)内藤木工所
園庭改修工事	1,092,000	奥アンツーカー(株)

玄関ホール等掲示板等修理	300,000	(有)内藤木工所
玄関アルミサッシ取替修理	136,500	(株)伸晃商事
音響設備購入	948,000	神戸楽器商会
冷凍冷蔵庫購入	253,293	晃洋厨機(株)
スチームコンベクションオーブン(TSC0-4GBN3) 購入	615,765	晃洋厨機(株)
乾燥機付包丁まな板殺菌庫購入	151,975	晃洋厨機(株)
ソルトテーブル購入	161,583	晃洋厨機(株)
ガス回転釜購入	248,925	晃洋厨機(株)
厨房室改修工事	2,257,500	晃洋厨機(株)

(北摂学園幼稚園)

屋外足洗場改修工事	178,500	三日月建設(株)
保育室床張替工事	315,000	但南建設(株)
アール型乳幼児椅子購入 30脚	270,000	(株)ジャクエツ神戸店
スーパーカルテーブル2×3 6台購入	159,000	(株)ジャクエツ神戸店
和室エアコン設置工事(ダイキンS40PIE-W)	210,525	(有)花崎電気工事
園長室エアコン設置工事(ダイキンS22NTES-W)	146,475	(有)花崎電気工事
園舎屋根・屋上防水工事	7,140,000	山陽建材工事(株)
園舎屋根、外壁塗装等整備工事	2,572,500	山陽建材工事(株)
うす軽テーブル購入 @31000×6	186,000	(株)ジャクエツ神戸店
マスセット薄型テーブル購入	155,000	(株)ジャクエツ神戸店
砂場枠設置	470,000	(株)ジャクエツ神戸店
濾過器スィムフレンド購入	543,000	(株)ジャクエツ神戸店
冷凍冷蔵庫購入	272,194	晃洋厨機(株)
乾燥機付包丁まな板殺菌庫購入	151,315	晃洋厨機(株)
スチームコンベクションオーブン(TSC0-4GBN3) 購入	613,089	晃洋厨機(株)

(キッズポート保育園)

乳幼児用椅子・スツール購入	717,400	(株)ジャクエツ神戸店
園庭改修工事	294,000	奥アンツカ(株)

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の収支計算は、企業の損益計算に近い計算構造の消費収支計算と、負債性収入（借入金等）及び資産取得に要した支出も含めた資金の流れを明らかにする資金収支計算があります。

消費収支計算では、授業料等の負債とならない収入を「帰属収入」といい、ここから資産の取得（施設・設備の購入）相当額等を基本金組入額として控除した額を「消費収入」としています。

この消費収入は、人件費、減価償却額を含めた教育研究経費および管理経費、借入金利息等、当年度で消費してしまう消費支出に充てます。消費収支計算は、この消費収入と消費支出の均衡状態を明らかにすることを目的としています。もし、このバランスがとれず消費支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

一方、資金収支計算は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。

通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されており、大まかな区分ではありますが学校にどういう収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、消費支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

この考え方から、前述のとおり基本金は、帰属収入（＝借入金等のように学校の負債となる収入以外の収入）から基本金対象となる資産相当額を基本金組入額として控除して組入れます。更に、消費収支計算において、消費収入として帰属収入から基本金組入額を控除しても、なお消費支出と均衡することが求められます。

ただし、固定資産の取得が借入金による場合は、その収入が帰属収入とならないため、取得年度では基本金組入れを行わず、帰属収入で借入金を返済したとき、その都度組入れることになっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

平成25年度

財務報告

資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表

学校法人 湊川相野学園

資金収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,241,293	1,266,710	△ 25,417	学生生徒等納付金収入	1,118,795	1,108,139	10,656
教育研究経費支出	319,416	323,285	△ 3,869	手数料収入	37,887	38,215	△ 328
管理経費支出	205,078	203,829	1,249	寄付金収入	9,994	8,623	1,371
借入金等利息支出	541	541	0	補助金収入	707,120	708,917	△ 1,797
借入金等返済支出	19,980	19,980	0	資産運用収入	102,695	109,684	△ 6,989
施設関係支出	136,331	136,311	20	資産売却収入	915,667	915,667	0
設備関係支出	15,688	24,798	△ 9,110	事業収入	84,092	88,675	△ 4,583
資産運用支出	1,043,343	1,043,781	△ 438	雑収入	109,687	141,956	△ 32,269
その他の支出	280,451	399,526	△ 119,075	前受金収入	229,903	241,580	△ 11,677
予備費	200	0	200	その他の収入	259,148	372,582	△ 113,434
資金支出調整勘定	△ 102,036	△ 138,262	36,226	資金収入調整勘定	△ 336,521	△ 367,359	30,838
次年度繰越支払資金	2,143,736	2,151,734	△ 7,998	前年度繰越支払資金	2,065,554	2,065,554	0
支出の部合計	5,304,021	5,432,233	△ 128,212	収入の部合計	5,304,021	5,432,233	△ 128,212

消費収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位 千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,241,293	1,263,113	△ 21,820	学生生徒等納付金	1,118,795	1,108,139	10,656
教育研究経費	457,581	461,977	△ 4,396	手数料	37,887	38,215	△ 328
管理経費	223,941	223,309	632	寄付金	9,994	9,468	526
借入金等利息	541	541	0	補助金	707,120	708,917	△ 1,797
資産処分差額	0	6,608	△ 6,608	資産運用収入	102,695	109,684	△ 6,989
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	資産売却差額	0	15,654	△ 15,654
消費支出の部合計	1,923,356	1,955,548	△ 32,192	事業収入	84,092	88,675	△ 4,583
当年度消費収入超過額	75,825	63,795		雑収入	109,687	142,016	△ 32,329
当年度消費支出超過額	0	0		帰属収入合計	2,170,270	2,220,768	△ 50,498
前年度繰越消費収入超過額	312,042	312,042		基本金組入額合計	△ 171,089	△ 201,425	30,336
基本金取崩額	0	0		消費収入の部合計	1,999,181	2,019,343	△ 20,162
翌年度繰越消費収入超過額	387,867	375,837					

貸借対照表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	6,847,641	6,706,699	140,942
(1)有形固定資産	4,210,278	4,207,652	2,626
(2)その他の固定資産	2,637,363	2,499,047	138,316
流動資産	2,286,807	2,143,420	143,387
合 計	9,134,448	8,850,119	284,329

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	209,595	226,513	△ 16,918
流動負債	399,633	363,607	36,026

第1号基本金	8,009,382	7,836,957	172,425
第4号基本金	140,000	111,000	29,000

消費収支差額	375,838	312,042	63,796
--------	---------	---------	--------

合 計	9,134,448	8,850,119	284,329
-----	-----------	-----------	---------

資産売却差額が発生したのは、有価証券の売却益です。
雑収入が増加したのは、各幼稚園で簿外集金していた絵本代等を本部会計扱いにした為。

その他の固定資産が増加したのは、主に法人部門において学園施設設備拡充積立資産を積み立てた為です。
流動資産が増加したのは、繰越支払資金の増加です。

過去三カ年の財務の推移表

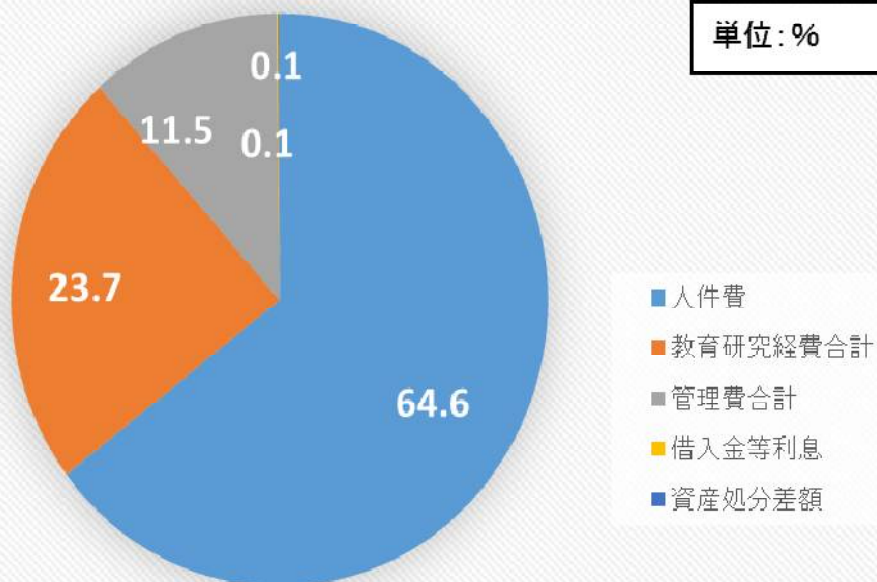
単位 千円

消費収支計算書	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	短大344名 高校1,000名 幼稚園834名 保育所77名			短大349名 高校1008名 幼稚園998名 保育所77名			短大340名 高校1,008名 幼稚園1,014名 保育所77名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,072,711	55.9%		1,135,765	55.0%		1,108,139	49.9%	
手数料	35,667	1.9%		34,932	1.7%		38,215	1.7%	
寄付金	14,033	0.7%		11,417	0.6%		9,468	0.4%	
補助金	662,839	34.5%		661,526	32.0%		708,917	31.9%	
資産運用収入	37,920	2.0%		67,429	3.3%		109,684	4.9%	
資産売却差額	600	0.0%		0	0.0%		15,654	0.7%	
事業収入	33,758	1.8%		33,768	1.6%		88,675	4.0%	
雑収入	63,156	3.3%		120,047	5.8%		142,016	6.4%	
帰属収入合計	1,920,684	100.0%		2,064,884	100.0%		2,220,768	100.0%	
基本金組入額合計	△42,211	-2.2%		△430,790	-20.9%		△201,425	-9.1%	
消費収入合計	1,878,473	97.8%		1,634,094	79.1%		2,019,343	90.9%	
人件費	1,234,217	64.3%		1,255,215	60.8%		1,263,113	56.9%	
(教育研究経費支出)	233,475	12.2%		213,263	10.3%		245,838	11.1%	
(奨学費支出)	51,223	2.7%		68,864	3.3%		78,285	3.5%	
(減価償却額)	129,659	6.8%		130,901	6.3%		137,854	6.2%	
教育研究経費 合計	414,357	21.6%		413,028	20.0%		461,977	20.8%	
(管理経費支出)	168,309	8.8%		231,036	11.2%		203,830	9.2%	
(減価償却額)	18,649	1.0%		18,694	0.9%		19,479	0.9%	
管理経費 合計	186,958	9.7%		249,730	12.1%		223,309	10.1%	
借入金等利息	974	0.1%		757	0.0%		541	0.0%	
資産処分差額	962	1.5%		204	0.2%		6,608	4.7%	
徴収不能引当金繰入額	507	0.0%		20	0.0%		0	0.0%	
消費支出合計	1,837,975	95.7%		1,918,954	92.9%		1,955,548	88.1%	
当年度消費収入超過額	40,498			△ 284,860			63,795		
前年度繰越消費収入超過額	556,371			596,902			312,042		
基本金取崩額	33			0			0		
翌年度繰越消費収入(支出)超過額	596,902			312,042			375,837		

資金収支計算書	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,072,711	24.4%		1,135,765	22.2%		1,108,139	20.4%	
手数料収入	35,667	0.8%		34,932	0.7%		38,215	0.7%	
寄付金収入	13,513	0.3%		11,386	0.2%		8,623	0.2%	
補助金収入	662,839	15.1%		661,526	12.9%		708,917	13.1%	
資産運用収入	37,920	0.9%		67,429	1.3%		109,684	2.0%	
資産売却収入	399,700	9.1%		350,000	6.8%		915,667	16.9%	
事業収入	33,758	0.8%		33,768	0.7%		88,675	1.6%	
雑収入	63,156	1.4%		117,560	2.3%		141,956	2.6%	
前受金収入	272,417	6.2%		234,485	4.6%		241,580	4.4%	
その他の収入	330,473	7.5%		933,940	18.2%		372,582	6.9%	
資金収入調整勘定	△326,730	-7.4%		△346,565	-6.8%		△367,359	-6.8%	
前年度繰越支払資金	1,797,566	40.9%		1,884,406	36.8%		2,065,554	38.0%	
資金収入合計	4,392,990	100.0%		5,118,632	100.0%		5,432,233	100.0%	
人件費	1,167,403	26.6%		1,249,656	24.4%		1,266,710	23.3%	
教育研究経費支出	284,698	6.5%		282,127	5.5%		323,285	6.0%	
管理経費支出	168,309	3.8%		231,036	4.5%		203,829	3.8%	
借入金等利息支出	974	0.0%		757	0.0%		541	0.0%	
借入金等返済支出	6,660	0.2%		6,660	0.1%		19,980	0.4%	
施設関係支出	11,701	0.3%		388,874	7.6%		136,311	2.5%	
設備関係支出	35,998	0.8%		31,927	0.6%		24,798	0.5%	
資産運用支出	550,118	12.5%		536,592	10.5%		1,043,781	19.2%	
その他の支出	366,226	8.3%		420,901	8.2%		399,526	7.4%	
資金支出調整勘定	△83,503	-1.9%		△95,452	-1.9%		△138,262	-2.5%	
次年度繰越支払資金	1,884,406	42.9%		2,065,554	40.4%		2,151,734	39.6%	
資金支出合計	4,392,990	100.0%		5,118,632	100.0%		5,432,233	100.0%	

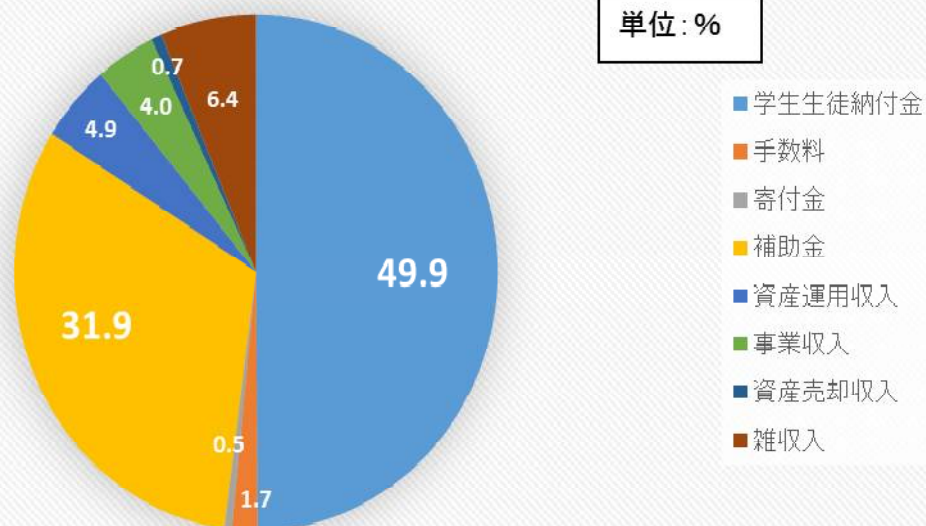
平成25年度 消費支出構成比率

単位：％



平成25年度 帰属収入の構成比

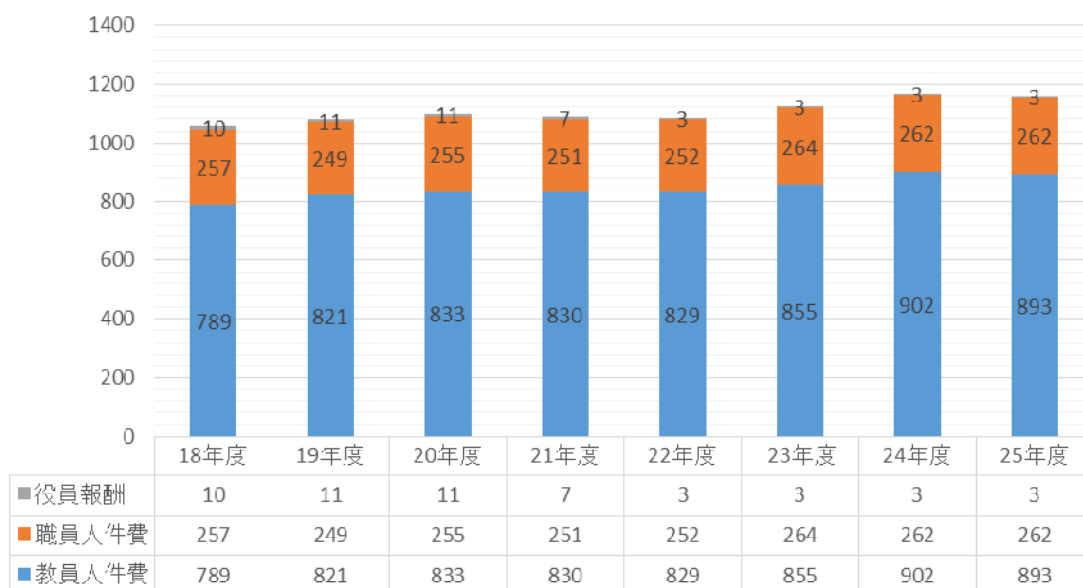
単位：％



人件費(消費支出)の推移

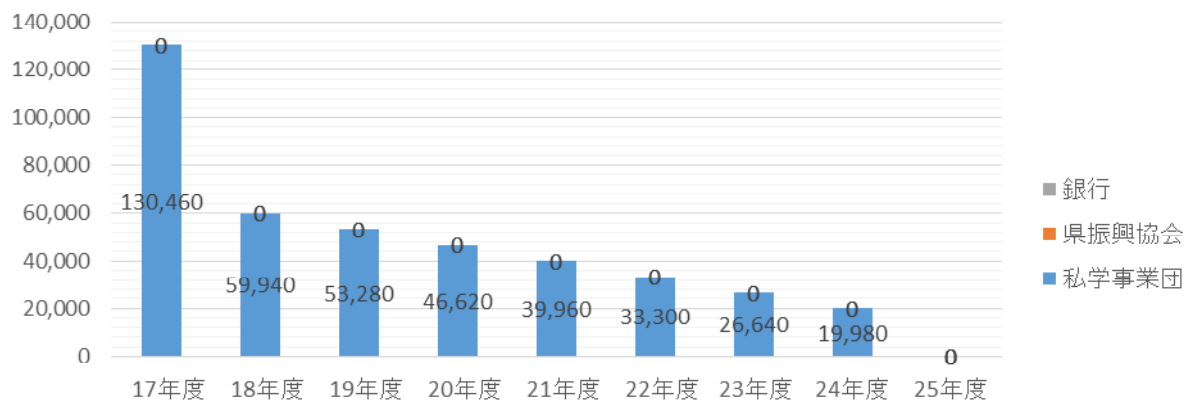
単位: 百万円

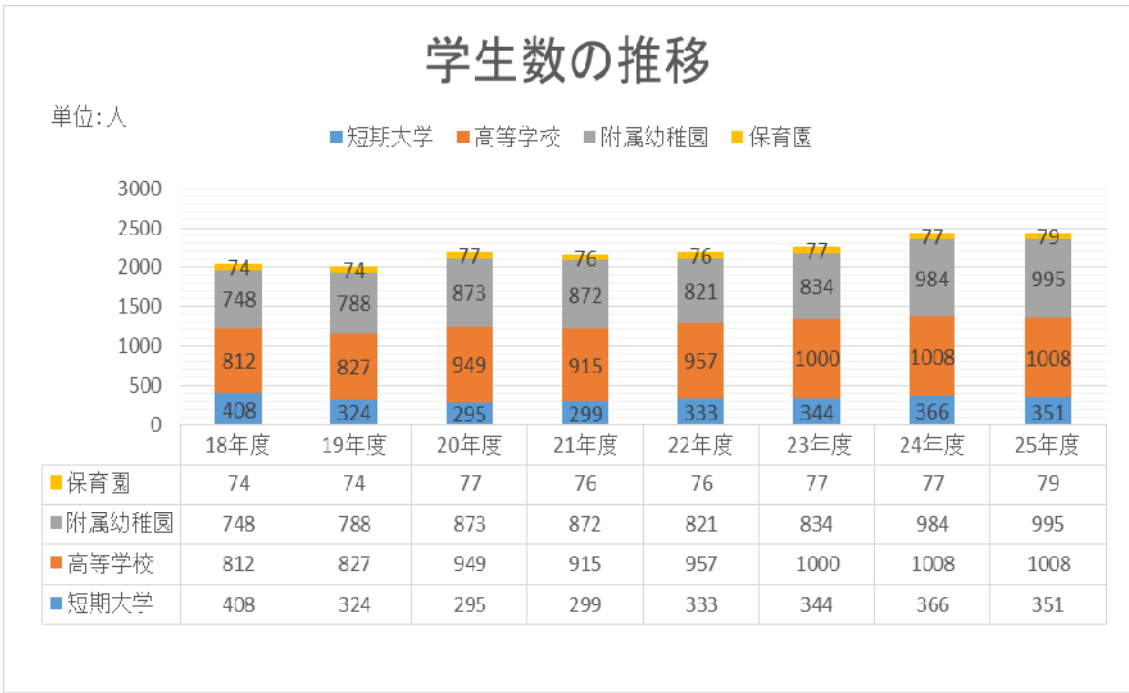
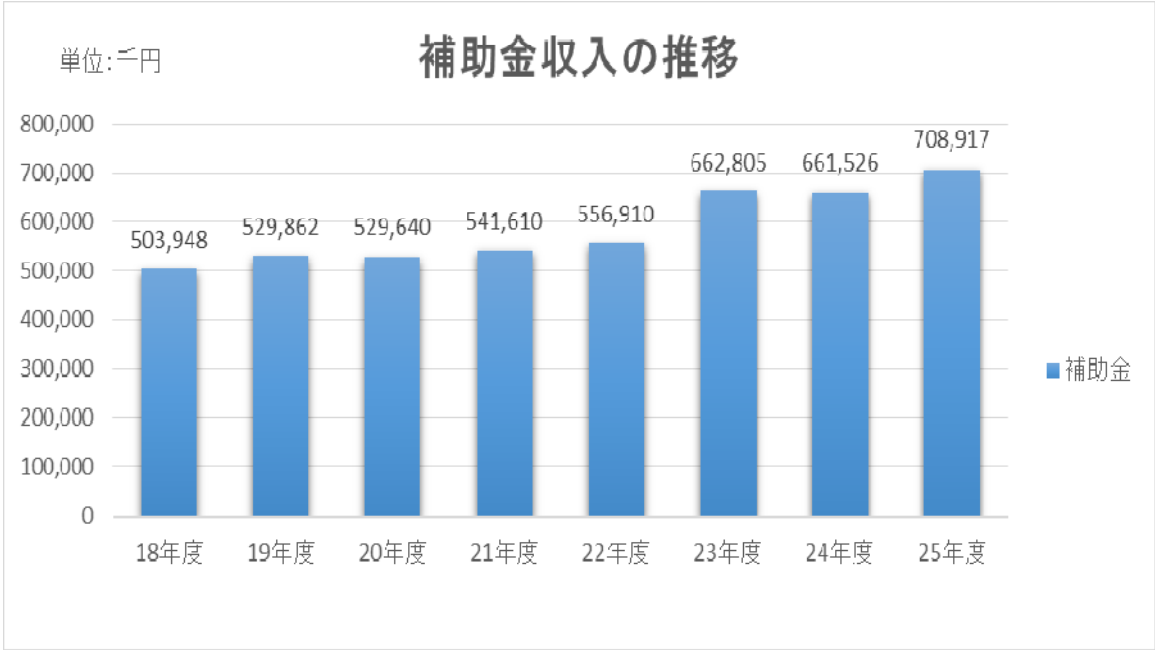
■ 教員人件費 ■ 職員人件費 ■ 役員報酬

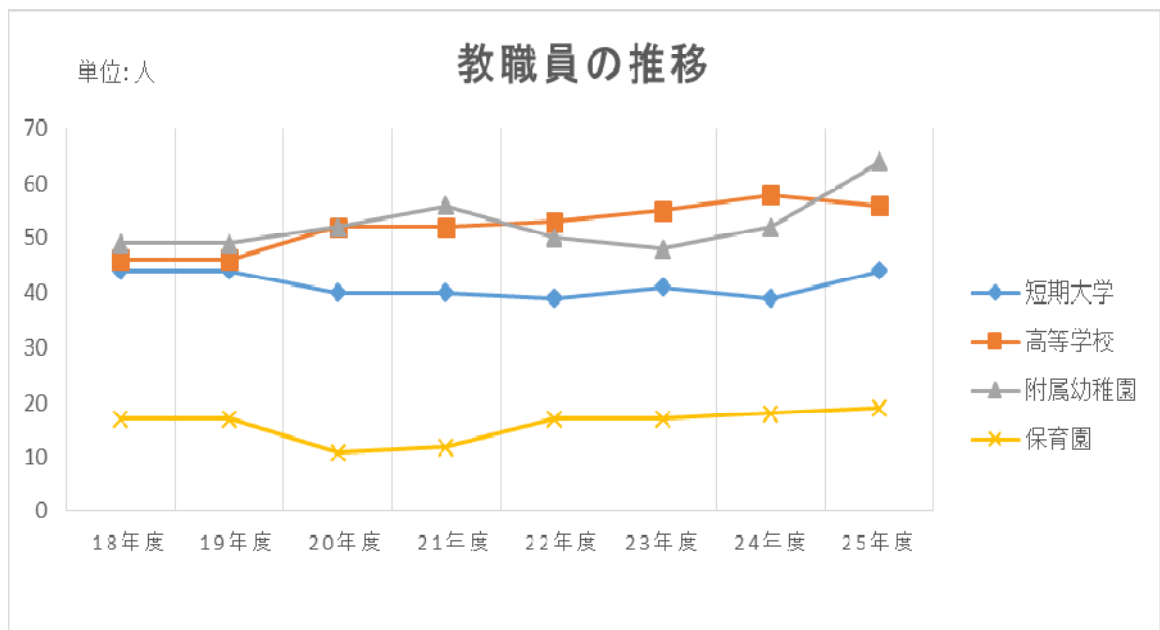


借入金残高推移

単位: 千円







◆◆主要財務諸表の比較表◆◆					
					単位: %
比率	算式 (× 100)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算
人件費比率	人件費 ÷ 帰属収入	58.4	64.3	60.7	56.9
人件費依存率	人件費 ÷ 学生生徒等納付金	104.2	115.1	110.3	114.0
教育研究経費支出率	教育研究費 ÷ 帰属収入	21.0	21.6	20.0	20.8
管理経費支出率	管理経費 ÷ 帰属収入	9.4	9.7	12.1	10.1
消費支出比率	消費支出 ÷ 帰属収入	88.9	95.7	92.9	88.1

平成26年 5 月 20 日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園

理事長 浅 井 祐 子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下 山 隆一郎 印

監 事 木 寅 文 雄 印

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条4項に基づいて学園の平成25年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)における計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表)及び理事の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準(文部省第18号)に準拠しており、学校法人湊川相野学園の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、理事の業務執行状況に関する不正の行為、または法令、もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたしました。